

めだかくらぶ



文責 小林 生実

玄関で、めだかくらぶの準備をしていると、嬉しいことに「今月も来ました♪」とリピーターで来て下さる方がいらっしやり、こちらもお名前を覚えて対応させて頂いています。地域の方にとって、『保育園に遊びに来ることが楽しみ』となるよう、いつでも温かく迎えたいと思っています。

9月のめだかくらぶ

9月は『身体を使って遊ぼう』というテーマでした。園庭にタイヤの山やマットなどを設定し、登ったり降りたりする動きを経験できるようにしたり、ハイハイ時期のお子さんには室内に段差やトンネルなどを用意しました。

園庭は、幼児クラスの子どもたちが遊んでいる時間だったので、在園の子が地域の友だちに声を掛けたり、ボールを持ってあげたりなど関りが生まれ、微笑ましかったです。大きい子たちに混ざって、活発に歩いて好奇心いっぱい探索を楽しむ子や、シートの上でハイハイしていたお子さんも周りの子どもたちが遊ぶ様子をじっと見たり、風や光を感じとって楽しんでいる様子でした。



～9月の誕生日会～
3歳児の子どもたちが一緒に祝いしてくれました。手形と写真付きのお誕生日カードをお渡ししています。



10月のめだかくらぶ

10月27日(木) 10:00～11:30

- ・ミニうんどう会
- ・10月生まれの誕生日会を予定しています。
- ・タオル、水筒などをご持参ください。

当日のふれあいランチは、先着3組までとなっております。

1日より予約受付開始します。
(費用：1食250円・一人一回まで)
なお、離乳食には対応しておりませんので予めご了承ください。

公園であそぼう

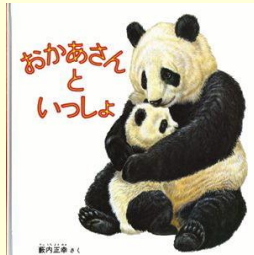
戸外で遊ぶことが気持ちのいい時期になってきました。我が子は8カ月頃から本格的に外遊びをはじめました。手や足で草を感じて進むハイハイから、歩けるようになると自分の行きたいところへどこまでも。室内とは違い、自然の中は広くて安全で、子どもの興味をそそるものでいっぱいです。ハイハイの時期は「まだ外遊びは無理かな」と思われがちですが、汚れてもいい服で出れば大丈夫です。大人も戸外に出ると心が落ち着きますのでお勧めです。

<絵本の紹介>

絵本は大人が読んであげるもの

子どもは絵本が好きですが、大好きな人が読んでくれるから心地良い時間で大好きなのです。絵本を読むと大人も精神的に安定するという効果があるそうです。本当ですよ。

『おかあさんといっしょ』 藪内 正幸さん 福音館
動物の絵本といえば藪内さんです。小さい子にとっては簡単な絵よりもリアルな動物の絵の方が分かりやすいそうです。藪内さんの描く動物は、いつも温かく美しいです。



ひとことコラム

驚きます！ 子どもが大人の表情から読み取る力

人間は赤ちゃんの時から相手の表情から感情を読み取る力を持っています。コロナ禍、大人がマスクをつける生活が続く、子どもたちの心の育ちに影響はないのか？と心配です。私たちは園の中で、マスクをしていてもなるべく表情を豊かにする心がけています。なぜかという、子どもたちはいつも大人を見ていて、その表情を読み取り「これはいいんだ」「これはいけないんだ」と判断しているからです。それは深く言うと、「わたしはここに居ていいんだ」という自己肯定感(大きな安心感)に繋がっているのです。

分かりやすい表情



顔と言葉が一致していると、分かりやすい!

伝わりやすい言葉の掛け方

分かりにくい表情



側に行き目を合わせ短く話す

① **かしわ公園** 広い芝生の上はハイハイ・探索活動の時期に最適。毎週木曜日はPLAYTANKさんの『おひさまびよびよ』があります。



② 学田公園

野球場の周りだけでも探索に面白いですが、事務所の名簿に名前を書けばグラウンドにも入れます!公園には乳児サイズの遊具もあります。

